

一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（計画書構成案）

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の背景

廃棄物処理をめぐる社会、経済情勢や本市の廃棄物行政の現状を記載する。

2 計画の位置づけ

策定の根拠法令、関連法令や本市の上位計画との関連を整理して記載する。

3 本市の概況

(1) 人口の推移

- ・本市の人口ビジョンから計画期間の人口推移を記載する。
- ・横須賀市基本計画、環境基本計画とも整合をとる。

(2) 産業の動向

横須賀市基本計画、環境基本計画と整合をとり、市内の産業の動向を記載する。

(3) 三浦市との関連

三浦市との広域連携について記載する。

第2章 本市のごみ処理の現状と課題

1 ごみ処理実績

過去5年程度のごみ処理実績（種類別、収集携帯別）についてグラフを用いて分かりやすく記載する。

2 ごみ処理フロー

- ・現状のごみ処理フロー図を記載する。
- ・現行のごみの種類と分別区分を記載する。

3 施設の概要

- ・本市のごみ処理施設（アイクル、エコミル、積替保管施設）及び三浦市の最終処分場の概要について記載する。
- ・外観や処理現場の写真を掲載する。

4 前計画の評価

前計画の重点施策の実施状況、目標の進行状況を簡潔に記載する。

5 ごみ処理の課題

- ・前計画の評価、現状発生している課題を整理する。
- ・少子高齢化社会や家庭ごみ有料化等もここに記載する。

第3章 計画の基本事項

1 基本理念と基本方針

計画の基本理念と基本方針を整理する。

- ・基本理念（案）

「持続可能な“循環型都市よこすか”の推進」

～SDGsのためにできること～

- ・基本方針（案）

3R（リデュース、リユース、リサイクル）に、リフューズを加えた

「4R」を基本方針とし、ごみを減らす取り組みを推進する。

SDGs（特に目標12、13、14）を意識した取り組みを推進する。

2 計画期間

- ・令和4年度（2022年度）～令和11年度（2029年度）の8年間とする。
- ・本市の基本構想・基本計画に合わせ2030年を見据えたものとする。

3 重点施策

- ・計画期間の8年間に重点的に進める施策について記載する。
- ・何を誰がいつまでに実施するのかを可能なかぎり記載する。
- ・現在、検討を進める予定の施策（案）
 - ① 50cm以下の家電を粗大ごみから不燃ごみへ分別変更
 - ② びんの分別区分変更
 - ③ 処理手数料の適正化

4 ごみの発生、排出抑制のための方策

- ・重点施策には該当しない、ごみの発生、排出を抑制するための方策を（１）市民の役割（２）事業者の役割（３）行政の役割に分けて記載する。
- ・想定される方策（案）
 - ① 食品ロスに関する施策
 - ② プラスチック、海洋プラスチックの削減
 - ③ 紙類の資源化
 - ④ 家庭系剪定枝の資源化
 - ⑤ 家庭ごみの有料化
- ・行政の役割に収集・運搬、中間処理、最終処分を記載する。

5 ごみ処理施設の管理

- ・本市施設の長寿命化や管理について記載する。
- ・具体的には①南処理工場の解体、跡地利用、②アイクルの今後の運用、③積替保管施設の今後の運用、④久里浜事務所の移転等について記載する。

6 計画期間におけるごみの発生量、処理量の見込み

- ・令和元年度のごみ量実績を基準値として、目標年度（令和 11 年度）までのごみ量を推計する。グラフで視覚的に示す。
- ・推計は（１）人口減少によるごみ量の減、（２）重点施策によるごみ量の減、（３）ごみの発生、排出抑制のための方策による減をそれぞれ考慮し行う。
- ・計画により分別や処理フローが変更となる場合は、変更後の分別体系やフローを記載する。

第 4 章 計画のマネジメント

1 目標

- ・第 3 章の 6 をもとに令和 11 年度のごみ量を目標値として示す。
- ・目標値としては①ごみ排出量、②集団資源回収量、③ 1 人 1 日当たりの排出量、④焼却量、焼却率、⑤埋立量、埋立率、⑥資源化量、資源化率等を設定する。
- ・市民や行政のごみを減量する努力が反映できるような目標を設定する。

2 進行管理

- ・毎年度、ごみ処理実績等を横須賀市廃棄物減量等推進審議会へ報告し、進行管理を行う。
- ・環境省の策定した「ごみ処理基本計画策定指針（平成 28 年 9 月）では概ね 5 年ごとに改定することとされているので、2025 年頃に見直しを行う。
- ・見直しの際は横須賀市廃棄物減量等推進審議会に諮問する。

第 5 章 災害廃棄物対策

横須賀市災害廃棄物処理計画を策定しているので、その概要を記載する。

※コラムについて

食ロス、プラスチック関連など身近な問題をコラムとして冊子内に掲載する。

【コラム（案）】

- ・新型コロナウイルス感染症での衛生問題との関連
- ・CO₂ の削減
- ・千葉県での災害支援
- ・災害廃棄物の仮置場や分別の必要性 など